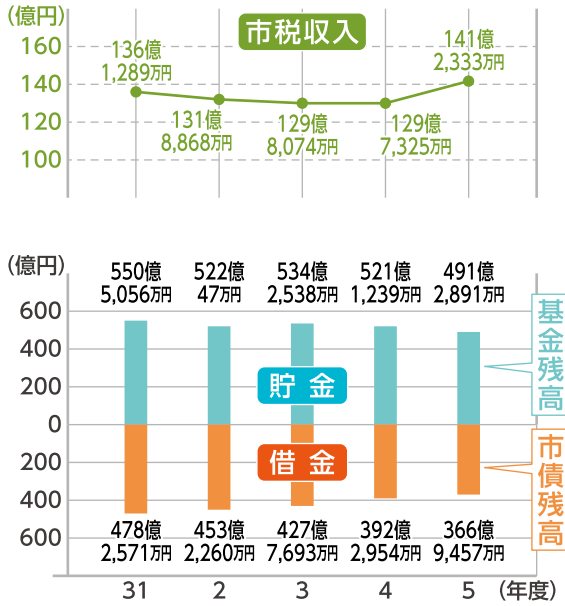


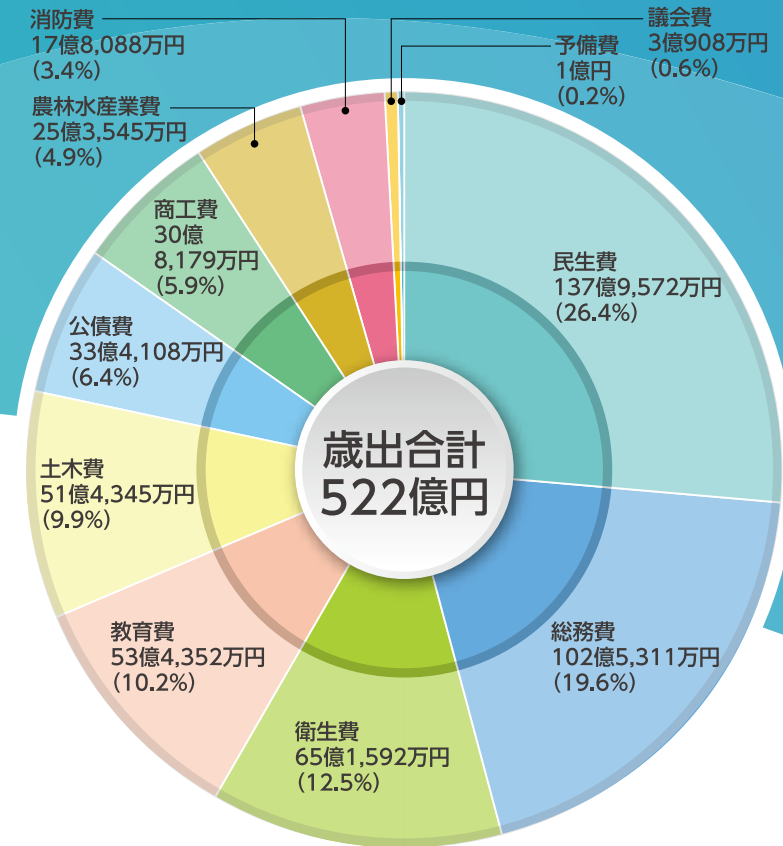


市財政の推移



※31～3年度は決算ベース、令和4年度は3月補正後の予算ベース、令和5年度は当初予算案ベース(基金残高、市債残高は年度末数値)。
 ※基金残高には、各年度における出納整理期間に積立および取崩しを行った金額を含む。

歳出



特別会計・企業会計別の予算額

特別会計

区分	令和5年度予算案	令和4年度予算(当初)	伸率(%)
国民健康保険事業(事業勘定)	85億4,900万円	89億3,900万円	△4.4
国民健康保険事業(直営診療施設勘定)	5億580万円	5億3,530万円	△5.5
地方卸売市場事業	3億1,690万円	8,940万円	254.5
学校給食費	4億740万円	3億8,100万円	6.9
介護保険事業	98億4,200万円	97億2,100万円	1.2
観光施設事業	1億7,970万円	1億6,710万円	7.5
後期高齢者医療事業	15億900万円	14億3,400万円	5.2
合計	213億980万円	212億6,680万円	0.2

企業会計

区分	令和5年度予算案	令和4年度予算(当初)	伸率(%)
水道事業	34億1,950万円	32億8,940万円	4.0
下水道事業	58億270万円	58億6,130万円	△1.0
合計	92億2,220万円	91億5,070万円	0.8

用語の解説

- 歳入・歳出** 地方公共団体のその会計年度の一切の収入を歳入、支出を歳出と呼んでいます。
- 自主財源** 地方公共団体が自らの手で徴収、収納できる財源。地方税、使用料、寄附金などがあります。
- 依存財源** 収入にあたって国や都道府県の関与を受ける財源。地方交付税、国庫支出金、県支出金などがあります。
- 地方交付税** 市町村間の財政力の不均衡をなくし、一定の住民サービスができるよう市町村の財政力に応じて国から交付されるお金。普通交付税と特別交付税があります。
- 市債** 市がする借金。世代間の負担の公平性を保つために道路や建物など長期にわたって市民が恩恵を受けるものを整備するときに活用します。
- 公債費** 事業を行うための借金(市債)を返済する経費です。

市の会計には、税金や国・県からの交付金・補助金、市債などを財源として、全般的な行政の経費を扱う「一般会計」と、特定の事業を進めるため、使用料など特定の収入を充てて独立した経理を行う「特別会計」「企業会計」があります。これらの収入と支出を取りまとめた冊子が予算書と呼ばれるもので、市長が予算案を作成し、市議会がそれをチェック・審議して決定します。

市民と行政との対話「たかやま共創ミーティング」を新たに開催します。また、市民が主体となって取り組む文化芸術活動の継続的な支援を実施するほか、生涯学習施設、スポーツ施設等の老朽化した機器更新やLED照明化など、市民の重要な活動拠点である公共施設の計画的な修繕も着実に推進します。

このほか、ごみ処理施設や地方卸売市場、高根多目的センター、南高山地域医療センター、荘川義務教育学校、保育園・給食センター、市民プール、都市計画道路の整備など、昨年度からの継続事業を推進するとともに、サッカー競技場整備や平湯バスターミナル周辺整備、高山駅西地区まちづくり構想の推進や、第九次総合計画の策定に向けた準備、指定管理者制度から直営管理に移行する市民スキー場の運営など、新たな事業の推進も図ります。また、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期すとともに、著しい原油価格・物価高騰への対応、DX(デジタルトランスフォーメーション)や持続可能な開発目標(SDGs)などにも引き続き取り組みます。

※万円単位での表示のため、端数処理(四捨五入)により計などが合わない場合があります。